

施策点検部会(医療・福祉部会)での学生(インターン)からの意見

参考資料

テーマ名	意見
医療・看護師等確保対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東西格差の偏在是正に積極的に取り組むべき。 ・ 医師の長時間勤務等の環境の問題解決にもなる。 ・ 少子化問題等、社会福祉分野の他の問題の解決にもつながると考える。 ・ 有識者等、合理的な解決を担う機関を作るべき。
がん対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ がんによる死亡数が多いのは、対策が不十分だけでなく高齢者が多いことに起因するのではないか。 ・ 行政というより「自己責任」の部分が強いと考える。 ・ 県ではなく医師会などの他団体が担うべきではないか。
認知症における医療と介護の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 島根県は高齢者が多いので行わなければならない。 ・ 実体験をしない限り分からないことが多そう。啓発を行っても中途半端になりそう。 ・ サービスは継続すべきなので、現状維持でよい。
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来世代が安心して育つ環境をつくることは将来の内需拡大にもつながり最優先すべき。 ・ 産みたくても産めない環境があるのはおかしい。 ・ 少子化・子育て支援を行い出生率を高めることは大事であるが、行政が結婚を斡旋することには違和感。 ・ 借金等将来世代へ付けまわしてるものがある以上将来世代を増やすことは必要。
障がい者の就労支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 景気が悪い中、障がい者の方の雇用も大切だが、若者に雇用を回してほしい。 ・ 行政にしかできないセーフティネットであるため「行わなければならない」のではないか。 ・ 自立とまではいかないまでも、障がい者の方が社会にでる契機となればよいと思う。